

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5156

課題名 : pT1b 淡明細胞型腎細胞癌における Kidney injury molecule-1 発現の臨床病理学的意義に関する研究

1. 研究の対象

2000 年 1 月～2020 年 12 月に当院で腎がんの手術を受けられた方

2. 研究期間

研究実施許可日 ～ 2026 年 3 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2025 年 5 月 1 日

提供開始予定日 : 該当なし

4. 研究目的

淡明細胞型腎細胞癌は、腎がんの中で最も多く発生する腫瘍のタイプで、癌細胞の転移がなく腎の中にとどまる早期症例では完治する方が大部分です。しかし、近年注目されている腫瘍に対する免疫機構の異常により、早期腎がんにおいても術後に再発することがあるという事実があります。本研究では、Kidney injury molecule-1 (KIM-1) と呼ばれる腫瘍の免疫機構を評価するマーカーを用い、当院において腎がんの手術を受けられた方の病理標本に対して、癌細胞における当該分子の発現を評価します。さらに、比較的小型で腎内に腫瘍が留まっている pT1b と呼ばれるステージ (径 4～7cm の腫瘍で周囲の組織に癌細胞が浸潤していない状態) の方に対象を限定することで、再発の原因の 1 つである腫瘍免疫機構の評価、および術後再発そのものを予測することを目的とします。

5. 研究方法

2000 年 1 月から 2020 年 12 月末までの間に、腎がんと診断され、当院で腎摘出術を行われた方のうち、「pT1b の淡明細胞型腎細胞癌」と診断された方を対象とします。組織所見の確認や腫瘍の周りの免疫細胞の測定を行ったのちに、病理標本を用いた免疫染色という方法で癌細胞が KIM-1 をどの程度発現しているか評価します。その後、年齢・性別などの臨床データ、また再発率を含む予後のデータを統計学的な比較を行い、それらに対する KIM-1 発現の影響を評価します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、画像の所見、治療の内容、腫瘍再発の有無・時期、予後
試料：手術検体の病理標本

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本校単独研究

9. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

本研究は講座の研究費を使用します。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご了承いただけない場合、得られた試料・情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院検査部 宮居 弘輔

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

連絡先：04-2995-1505（内線 5733）電話対応時間 9 時から 16 時

mykusu228@nifty.com